

分科会(グループ)	教育-1
提案内容	小・中学校での主権者教育及び主体性の向上
発表内容	<p>選挙で投票する年齢になる高校での授業は大事だが、小中学校のころから基盤形成していくという部分に目をつけた。また、選挙への入口を広げることを目指して、学校教育、家庭、投票手法、学校での模擬選挙ディベート、SNS、議会に分けて考えた。</p> <p>学校教育では、自分たちの問題を自分たちが考える能力をつけるために、学校での模擬選挙をできる範囲で楽しく行うことを考えた。</p> <p>家庭では、学校で選挙の授業を受けたことを子どもが話せば、両親も選挙への関心意欲の向上が繋がると考えた。</p> <p>投票手法は、ネット投票などの手軽に楽しくなる選挙をイメージし、大学生にも向け、大学や駅前に投票所を設けるなど、投票に行くハードルを下げることを考えた。</p> <p>学校での模擬選挙ディベートは、月に1回給食のおかず選びなど、簡単などころから自分たちが考えた内容が、選挙により実現するということを知り、意識を芽生えさせていくことが大事だと思った。</p> <p>SNSについて、小中学生は、膨大な量のYouTubeやTwitter等を見ているため、インフルエンサーなどに頼んで、面白く楽しく、端的に選挙がわかるよう、SNSを活用して伝えるのが有効と考えた。</p> <p>議会に関しては、少年議会の設置や、今回のような機会や校外学習などで議会に来ることで、雰囲気を感じるということが重要だと考えた。</p> <p>この六つを繋げることで、選挙への入口を大きくしていくことを提案する。</p>



分科会(グループ)	教育-2
提案内容	学習スペースと多様な進路選択
発表内容	<p>1点目について、新しい学習スペースを作るということは難しいかもしれないが、民間施設やまちづくりセンターなどの公共施設の多機能スペースを活用することで、早くに実現すると考えた。</p> <p>学習スペースがあることで、学力や学習意欲が向上するほか、他校の生徒と出会い、交流、競争という効果もある。また、高校生が運営するレストランができたらいいいという意見が出た。</p> <p>一方で、利用のルールを設ける必要がある、場所をどこにするのが良いのか、土日や学校終わり、夜9時や10時まで開いている施設がないということが課題である。</p> <p>2点目の留学や、幅広い進路の選択肢については、今ある制度を利用する、制度をさらに充実させるという意見があり、国際交流協会に協力してもらおうという案が出た。海外の方が学校に来てもらえることで、自分に合った進路の選択肢が広がり、夢を持って頑張る人が増えることや、英語能力の向上も期待できる。</p> <p>自分たちが今できることとして、高校生だけでなく、中学生なども簡単に参加できるようリモートでのイベントを行うという案が出た。また、海外に行くにはやはり治安の問題などの不安があるため、しっかりしたルートで海外へ行くべきするという意見が出た。</p> <p>2つの点に共通して、こういった情報を伝えることが必要であり、広報誌やホームページなどの情報を、学校からの連絡を利用して、皆が知ることが重要であると考えた。</p>

